EMPEX

家庭用

リモート電波サーモ

デジタル内・外温度計

TD-8202

取扱説明書 **保証書付**

このたびは、エンペックス製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。

なお、この説明書はお使いになる方が、いつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

ご使用前の確認

安全上のご注意…… 1
商品構成と各部の名称…… 2

使い方

電池のセット・交換のしかた（本体） …… 3
電池のセット・交換のしかた（リモート外部センサ）… 4
設定（初期設定） …… 4
設置環境について…… 5
設置のしかた…… 5
最高温度・最低温度…… 6

お知らせ

こんなとき…… 6
故障を防ぐために…… 7
主な仕様…… 7
アフターサービスについて…… 8
修理とお客様相談窓口…… 9

保証書

保証規定…… 裏表紙

特徴

- 本体と、外部センサのセットで二ヶ所の温度を同時に測定します。
- 特定小電力を用いたワイヤレスにより、約20mの距離で受信可能。
- 離れた場所の温度を、手元に置いた本体で確認。
- 最高・最低温度を自動メモリし、いつでも読み取ることができます。
- 本体は鮮明なコントラストで見やすい大型液晶画面を搭載。
- 外部センサーは防滴仕様。
- 本体は置掛兼用。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。
図記号には、次のような意味があります。

必ず**実行** 必ず指示に従う　**禁止事項** 絶対に行わない

警告 この表示の欄は、
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意 この表示の欄は、
人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

⚠警告

必ず守る **●壁等に設置する際、しっかりと確実に設置する。**
※固定が不十分な場合、落下するおそれがあります。

禁止 **●分解・改造しない。**
※事故の原因となります。

必ず守る **●電池は幼児の手の届かない所に置いてください。**
※万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。

必ず守る **●乾電池に表示してある注意内容を必ず守る。**
※守らないと発熱、破裂、液漏れによるけがや周囲汚損の原因となります。

⚠注意

必ず守る **●業務用には使用しない。** ※家庭用です。専門的な計測器として使用する目的で製造されたものではありません。ご使用に当たっては、製品の特性をよくご理解の上、ご使用ください。

必ず守る **●電池は⊕⊖極を確かめ、正しく入れてください。**
※故障の原因となります。

禁止 **●水など、液体状のものに濡らさない。**
※破損・発熱の恐れがあります。

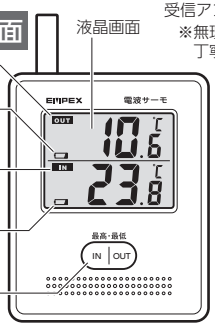
温度計の精度誤差などにより生じる二次災害や損害等については、
弊社では一切その責任を負えませんのでご了承ください。

商品構成と各部の名称

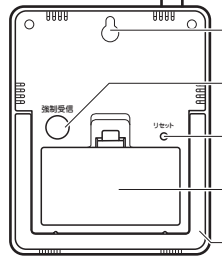
本体及び附属品をご確認ください。

本体

表面



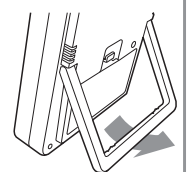
裏面



単三形アルカリ乾電池2本
（本体用）

※附属の電池はモニター用のため、規定の電池寿命に満たないうちに切れる場合があります。

卓上などで置いて使用する場合はスタンドを引き出してください。

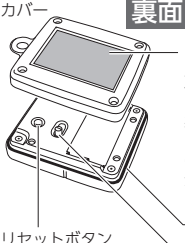


リモート外部センサ

表面

LED ランプ
信号発信時に
点滅します。
（約4分に1回）

裏面



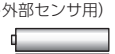
注意 必ず守る

●シールをはがさないでください。

このシールは、小規模無線設備に基づく、電波法に定める技術基準に適合していることを証明するものです。このシールをはがしたり、分解・改造すると法律で罰せられることがあります。

取扱説明書
（本紙）

単四形アルカリ乾電池2本
（リモート外部センサ用）



※附属の電池はモニター用のため、規定の電池寿命に満たないうちに切れる場合があります。

リモート外部センサ用部品

両面テープ
パッキン（スペア）
ネジ4本（スペア）

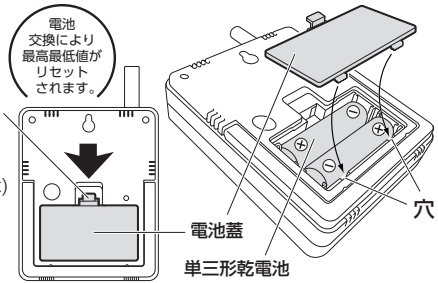
電池のセット・交換のしかた(本体)

- 初めてお使いの場合、乾電池と本体の間に絶縁フィルムが入っています。
  ※絶縁フィルムを抜き取ってからご使用ください。
- 単三形乾電池を2本使用します。アルカリまたはリチューム電池を推奨します。
  特に低温でのご使用は、リチューム電池の使用をお勧めします。
- 電池交換表示 点灯は、電池が消耗してきたことを示しています。できるだけ早く電池を交換することをおすすめします。表示が薄くなってきたり マークが表示されたら、本体とリモート外部センサ両方とも、同時に電池交換をしてください。

1 電池蓋をはずす。
電池蓋のツメを矢印の方に押しながらゆっくりと手前に引く。

2 乾電池を入れる。
乾電池の ⊕⊖ を確認して、入れる。(単3形乾電池×2本)

3 電池蓋を閉める。
電池蓋を穴に合わせて、閉める。



電池のセットまたは交換後は、設定（4ページ参照）を行ってください。

⚠注意

電池の使い方を間違えますと
液もれや破裂の恐れがあり、機器の故障やけがの原因となります。

必ず守る

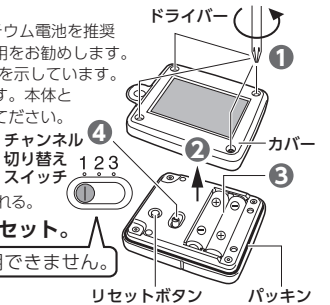
- **幼児の手の届かない所に保管する。**
  ※万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- **⊕⊖極を確かめ、正しく入れる。**
- **⊕⊖極をショートさせない。**
- **火や水の中に入れない。**
- **直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。**
- **使用済み電池は、市町村の条例に基づき廃棄してください。**
- **乾電池・リチウム電池は充電しない。**
- **使い切った電池はすぐに取り出す。**
- **長期間使用しないときは、電池を取り出しておく。**
- **乾電池に表示してある注意内容を必ず守る。**

禁止

- **電池にハンダ付けしない。**
- **違う種類の電池や新旧の電池を混ぜて使用しない。**

電池のセット・交換のしかた（リモート 外部センサ）

●プラスのドライバーをご用意ください。
●単四形乾電池を2本使用します。アルカリまたはリチウム電池を推奨します。特に低温でのご使用は、リチウム電池の使用をお勧めします。
●電池交換表示 点灯は、電池が消耗してきたことを示しています。できるだけ早く電池を交換することをおすすめします。本体とリモート外部センサ両方とも、同時に電池交換をしてください。



❶ドライバーで4ヶ所のネジをはずす。
❷カバーを開ける。
❸乾電池を入れる。乾電池の⊕⊖を確認して、入れる。
❹チャンネル切り替えスイッチを必ず1にセット。

禁止 2.3チャンネルは使用できません。

5 設定（次項参照）を行う。
6 カバーを閉める。パッキンが、カバーとの間に挟まるようにして、4ヶ所のネジをまわし締め付けます。

設定 外部温度を受信させるために必要な初期設定です。

●設定時同様の製品からの電波が入らない所で行います。
●一度リモート外部センサからの電波を受信し本体に登録されると、以降同様の製品からの混信を防ぐ事ができます。
●本体の受信距離（半径約20メートル）に、リモート外部センサが2台以上ある場合に設定を行うと、使用したいリモートセンサを受信出来ない場合があります。離して設定してください。

本体にリモート外部センサを認識させる（受信させる）為に行います。
ご注意 本体とリモート外部センサを1メートル以上離して、設定してください。

1 リモート外部センサのカバーを開けて、切り替えスイッチを1にする。
上項「リモート外部センサへの電池のセット・交換のしかた」をご覧ください。

2 順番にボタンを押す。
仕様上、1分以内に本体とリモート外部センサのボタンを押す必要があります。一度手順をお読みになってから、実際の操作を行ってください。

1分以内で。
❶本体裏面のリセットボタンを押す。
❷リモート外部センサのリセットボタンを押す。
リセットボタンを押すと最高・最低温度もリセットされます。

※本体の液晶画面上段（外部温度 OUT）にリモート外部センサの温度が表示されます。確認できましたらリモート外部センサのカバーを閉めます。
上項「電池のセット・交換のしかた（リモート外部センサ）」をご覧ください。

設定ができた後でも、本体が外部温度を表示できなくなる場合があります。

リモート外部センサの温度が認識（受信）されていない場合、本体の液晶画面上段（外部温度 OUT）に - - - が表示されます。このような場合は強制受信ボタンを押して下さい。受信できると再度温度が表示されます。※強制受信ボタンを押してから、再度受信するまで、最大で4分程度かかります。数回強制受信を行っても、温度が表示されない場合、次項「設置環境について」を参照してから、再度設定を行ってください。

設置環境について

受信環境について

●設置前に周囲に同様の商品が使用されていないか確認し、使用する上で影響が無い事を確認して下さい。
●本体とリモート外部センサは1m以上離してご使用してください。
●本体とリモート外部センサは約20メートルの距離で受信可能です。
電波障害を受けやすい環境や電池の性能によっては受信距離が狭くなりますので、ご注意ください。
●障害物があると、極端に受信状態が悪くなる場合があります。 本体とリモート外部センサの間や近くに障害物『壁や金属物（ブラインドなど）』がある場合や、家電製品やOA機器など電子機器の電波(ノイズ)の影響を受けると受信距離が低下したり正常に動作しない場合があります。
●本体の受信距離（半径約20メートル）に、リモート外部センサが2台以上ある場合に設定を行うと、使用したいリモートセンサーを受信出来ない場合があります。離して設定してください。
●電池の性能により、特に低温下で発信の機能が低下する場合があります。
高性能電池（アルカリまたはリチウム電池）の使用をお勧めいたします。
●強い磁気のある所では使用しないでください。受信が正常に作動しない場合があります。

つぎのような場所では使わないでください。

●本体の周囲温度が0℃以下または50℃以上の場所。
●リモート外部センサ温度が−20℃以下または60℃以上の場所。
●直射日光・雨・雪が直接当る場所。
●冷暖房器具、加・除湿器具、火気・熱器具などの近く。
●強い磁気のある場所。例えば、大型スピーカー、大型モーターの近く等。
●振動の激しい場所や衝撃を受ける場所。例えば車中や工事現場など。
●水などの液体状のものがかかるような場所。例えば浴室や工事現場など。
●ガスが発生する場所。例えば温泉場など。

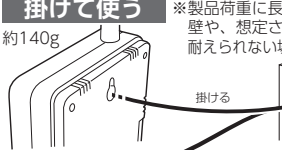
設置のしかた

空気が良く循環する、安定した場所を選び設置してください。

●**掛けて使用する場合**
ネジを壁面の構造や材質に最適な市販品をご準備ください。
ネジがぐらつかないように、しっかりと固定して掛けます。
※固定が不十分な場合、落下することがあり危険です。
※風や振動でも落下しない様に注意してください。

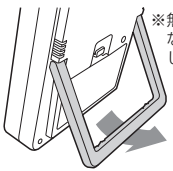
掛けて使う

※製品荷重に長期間耐えられない壁や、想定される振動や外力に耐えられない場所に取り付けない。



置いて使う

本体裏面のスタンドを引き出すと卓上などで置いて使用できます。



※無理に引っ張らないように注意して下さい。

⚠ ネジ類は同梱されておりません。
壁面の構造や材質にあわせて別途ご用意下さい。

リモート外部センサ

付属の両面テープを使用する場合、
落下しないよう十分に固定してください。

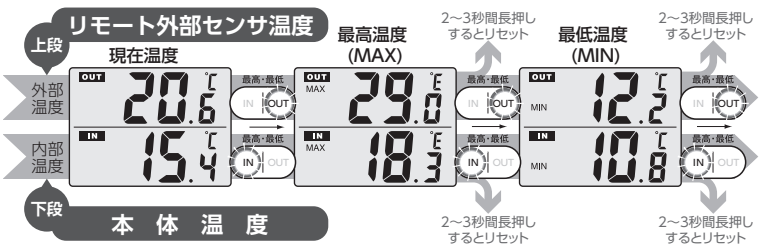
温度は、設置してから約1〜2時間後に正しい値を示します。

最高・最低温度

電池のセットまたはリセットを行ってから自動で記録されている最高温度と最低温度を表示します。（※リセット直後は表示されません。）

最高・最低温度の表示のしかた

本体表面の最高・最低表示ボタンを押していくごとに液晶画面に外部・内部それぞれの最高温度→最低温度→現在温度が順に繰り返し表示されます。



最高・最低温度のリセットのしかた

●最高温度または最低温度表示の時に外部ならば 最高・最低 OUT、内部なら 最高・最低 IN ボタンを2〜3秒押し続け - - . - マークが表示されればリセット完了です。

こんなとき

液晶パネルについて

●温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
●温度が高くなると液晶パネルが黒くなることがあります。

- - . - マークが表示されたら

●本体とリモート外部センサとも、電池をセットしましたか？
●電池が消耗していませんか？
●電池蓋あるいはカバー内部に異物やホコリが付着していませんか？

▼

電池をセットして、4 ページの「設定」を行ってください。

●受信できてますか？

▼

5 ページの「設置環境について」をご確認の上、設定をおこなって下さい。

故障を防ぐために

取扱いについて

●精密機械ですので乱暴に扱ったり、強いショックは与えないでください。
●分解して内部に触れたり、調整したりしないでください。
●寒いところから暖かい場所への移動など急激な温度の変化を避けてください。
※結露をおこしたときは、風通しのよい場所で乾燥させてからご使用ください。

日常のお手入れについて

●ケースの汚れを落とすとき、シンナー、ベンジン、ミガキ粉、スプレー式クリーナー、各種ブラシなどは使用しないでください。油汚れなどは、やわらかい布に中性洗剤を浸し良くしぼってから拭き、乾拭きをしてください。

主な仕様

本体	
使用温度範囲	0 ～ +50℃（範囲外でも測定表示しますが正確ではありません）
温度表示単位	0.1℃
精度	±1.5 ℃(0 ～+40 ℃) ±2.5 ℃ (左記以外)
温度測定間隔	約4分
電源	単三形乾電池 x 2本 (3V)
電池寿命	約 1 年 (アルカリ電池)
寸法	102 x 89 x 28 mm (アンテナ25mm含まず)
質量	約140g（電池含む）
外枠材質	ABS樹脂
箱寸法(ブリスター)	130（横）×245（縦）×30.5（厚さ）※本体・外部センサーを含む
リモート外部センサ	

アフターサービスについて

■ 販売店の方へ

保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

●保証期間内に、正常な使用状態で万が一故障した場合には、弊社サービスセンター又はお客様相談室にお問い合わせ下さい。

●保証内容は、保証規定に記載した通りです。

●この製品の補修部品の保存期間は製造打ち切り後5年間です。

※補修部品とは製品の機能を維持するために不可欠な本体部品です。

●修理のとき、必要な部品や付属品などは一部代替品を使用させて頂く事もありますので、ご了承下さい。

●保証期間が過ぎても補修部品の保存期間中は原則として有料修理が可能です。

●修理可能な期間は、ご使用条件により著しく異なるため、精度等が元通りにならない場合がありますのでご了承下さい。

●贈答品や転居後についてはお客様相談室へご相談下さい。

●修理ご依頼の場合は、下記欄に必要事項を記入してください。

受付年月日	修理内容	確認印

修理とお客様相談室

修理などの相談窓口

●修理のご依頼及びお問い合せは「サービスセンター」にて承っております。
●修理のご依頼を頂く場合は、次の事項を明記の上、製品と一緒に送付して下さい。

◇お客様名　◇お客様住所　◇お電話番号(ご連絡先)
◇E-mailアドレス(お持ちの場合)
◇製品名(または製品番号)
◇故障状況(修理の依頼内容を詳しく)
◇ご購入された時期、ご購入店
◇保証書の有無(保証期間内の場合)
◇有料修理となる場合見積必要の有無

エンペックス気象計株式会社 サービスセンター
〒023-0001　岩手県奥州市水沢区卸町3番地16

☎0197-22-2853　**受付時間 平日9:00～17:00**
※土日祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

使い方などの相談窓口

●お客様相談室では製品に関するお問い合わせや、製品の機能や操作、使用方法、ご意見等を承っております。

お客様相談室　〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17　TOCビル

☎050-3784-5591　**受付時間 平日9:00～17:00**

※土日祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

●E-mailでのご相談は、弊社ホームページよりお問い合わせください。

エンペックス気象計株式会社ホームページ

http://www.empex.co.jp

保証書

保証規定の内容により無料で修理及び調整を行うことをお約束するものです

機種名　TD-8202	保証期間:お買上げ日より本体1年間
お買上げ日: お客様名: ご住所: お電話番号:	
販売店名:	

■保証規定

1.説明書の注意に従った正常なご使用状態で万が一故障した場合は、お買上げ後1年間、無料で修理いたします。尚、故障の内容によりましては、修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。

2.修理の必要が生じた場合は、製品に本証を添えてお買上げ店または弊社サービスセンターへご持参またはご送付ください。

3.保証期間内でも次の場合は、有料修理となります。

- 誤用・乱用・および扱い不注意による故障
- 火災・地震・水害及び盗難等の災害による故障
- 不当な修理や改造及び異常電圧に起因する故障
- 使用中に生じたキズなどの外観上の変化
- 消耗品及び付属品の交換
- 本保証書の提示が無い場合および必要事項(お買上げ日、販売店名等)の記入が無い場合

上記有料修理の場合、送料はお客様のご負担となります。

4.当製品の故障又はその使用上生じた損害については当社はその責に任じません。

5.保証規定により修理を実施した場合は、修理報告書により修理内容をご報告します。

6.本保証書は日本国内においてのみ有効です。また、本保証書は再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

This warranty is vaild only in Japan

※本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証書に記入されたお客様の個人情報は、製品の修理・交換の製品発送のみに使用します。また、弊社からの各種情報提供のために使用する場合があります。それ以外に使用したり第三者に提供することは一切ありません。

販売元:エンペックス気象計株式会社

〒141-0031東京都品川区西五反田7-22-17　TOCビル

お客様相談室　TEL(050)3784-5591

Printed in China